

宝林宝樹 (3)

大根に白菜、かぶに春菊、畑には冬のお野菜たちが実っています。実りに出会えたのはなぜでしょう。それは種をまいたからです。種なくして作物が実ることはありません。また、お日様の光や水も欠かせません。お世話をしてくれた方の手間もあるはずです。

仏さまの教えに因・縁・果という言葉があります。お野菜に例えると、原因となる種があつて、色んな縁がそろつて、そしてお野菜という結果が実りましたということなのです。

現代の生活ではお野菜はスーパーで買ってくるものという感覚が強くなりました。しかし、そのお野菜も突然あらわれることはありません。かならず、因があり、縁が整い、結果として実ったものです。その背景に思いが巡ると、実りへの感謝が湧いてくるように感じます。

お野菜を「私」におきかえても同じかもしれません。私たち一人一人にも必ず背景があります。生まれてくる因となつてくださった多くのいのち、私を育んでくださったご縁の数々。その結果が私です。わが身の背景に気づかされた時、手を合わせて日暮らしせねばもったいないような心を感じます。

